

福祉の“いま”と“未来”が見えてくる。

将来の職業を決めるために、視野を広げてみませんか。
少しでも福祉の分野に興味があれば、気軽にご参加ください。
実績ある施設現場のリアルな声を聞いて、きっと、自分の未来へのヒントになるはずです。

福祉の“リアル”が聞けるセミナー 2022

日時 2022年11月5日(土)

【セミナー】14:00～ / 【個別相談・交流会】15:30～

会場 札幌市中央区北1条西1丁目
カナモトホール(札幌市民ホール)第1・第2会議室

参加形式 会場参加とオンライン参加からお選びいただけます。

対象者 中学生以上なら、
どなたでも参加可能

参加無料

会場参加

オンライン参加

お選びいただけます。

予約特典

事前予約者に
1,000円分の
クオカードプレゼント!
※アンケートにお答えいただいた方のみ



主催：福祉の“リアル”が聞けるセミナー実行委員会

後援

- 社会福祉法人札幌報恩会 ● 社会福祉法人新篠津福祉会 ● 社会福祉法人愛誠会 ● 社会福祉法人北海道ハピニス ● 社会福祉法人はるにれの里
- 社会福祉法人生振の里 ● 社会福祉法人北海長正会 ● 社会福祉法人北ひろしま福祉会 ● 社会福祉法人後志報恩会

HTB 北海道テレビ
(株) アルバイト情報社

セミナー

会場参加

オンライン参加

9つの社会福祉法人で働く若手職員によるトークセッション。
毎日の現場の様子や仕事の魅力・やりがいについて生の声が聞けます。

個別相談・交流会

会場参加

オンライン参加

「若手職員と交流」「職場環境や雇用状況の相談」などコーナーを設置し、施設や仕事について詳しくご紹介。福祉の仕事について気軽に相談できる他、施設見学・体験も受付ます。

参加お申込み方法



申込フォームから予約受付が可能です。

<https://forms.gle/SP331uWV5mGWUYMb6>

申込締切 2022年10月28日(金)



*セミナーおよび個別相談・交流会とも会場参加の際は、感染予防対策として国のガイドラインに則り、会場参加の方には検温と手指消毒を行います。また、体調不良の方や体温が37.5℃以上の方の入場をお断りする場合があります。*緊急事態宣言の発出など事情により、参加申込後に会場参加を中止、オンライン参加のみに移行する場合があります。

お問い合わせ(事務局)

お問い合わせ
(実行委員会事務局)

社会福祉法人 はるにれの里

〒061-3211 石狩市花川北1条5丁目171番地

MAIL syafuku.seminar@gmail.com

TEL 0133-62-8360 担当 木田(きだ)



福祉の現場の第一線で活躍しているからわかる仕事の魅力。
 セミナーでは、札幌近郊で働く9名の職員のリアルな声と、
 福祉の世界で活躍を目指し学んでいる学生の熱い想いをお届けします。



職員File
01

デイサービスセンター こすもす
三上 葉月 さん

専門学校を卒業後、言語聴覚士の資格を生かした仕事をしたくて現在の職場に転職。勤務地のむかわ町穂別地区は人口が少ないこともあり、より地域に密着したサービスの提供を考えて利用者様と接しています。



職員File
02

地域支援センターくるみ寮
細矢 貴志 さん

買物や通院の付き添いをしたり、生活や仕事の相談にのったり、グループホームで知的障がいのある方の生活支援をしています。丁寧な姿勢と言葉遣いを心がけて、利用者様に寄り添った毎日を目指しています。



職員File
03

後志報恩会 銀山学園
本保 光海 さん

何よりも利用者様の純粋な笑顔を見ることができたり、自分の成長につながる発見ができた時にやりがいを感じています。そのために日々介護知識を身につけ、支援の仕方を考え、利用者様が気持ちよく過ごせるように心がけています。



指定特定相談支援事業所 相談室ここに
加藤 貴裕 さん

職員File
04



大学の時に障害児福祉に興味を持ち、社会福祉士の資格を取得。相談支援専門員として、保護者の意向をくみ取りながらご本人の意思にも十分に耳を傾けて、障がい福祉サービスを利用される方の対応をしています。

地域密着型通所 のびのびファイン
石川 大樹 さん

職員File
05



もともとカーディーラーの営業職をしていました。そこで福祉車両も取り扱っていて外側から福祉の世界を見ていましたが、もっとやりがいや達成感ある仕事を求めて現職に。資格にとられることなく、福祉分野で頑張っています。

共同生活援助 厚田はまなす荘
白濱 陽 さん

職員File
06



福祉のサービスを受ける方々は何かしら生きづらさを抱えていると思います。ですから利用者様と時間をかけて話し合い、何がなか、どう支援できるのか、職員みんなで形にしていこうと楽しく感じています。

職員File
07

障がい者支援施設 新しのつ幸生園
松浦 匡純 さん

祖父が施設に入所していたこと、父が介護福祉士をしていたこともあり、福祉系専門学校に進学。障がい者支援施設の利用者様は個々にできること、できないことが異なるため、一人一人に合わせた支援を心がけています。



職員File
08

障がい者支援施設 生振の里
中村 ひろ乃 さん

休み明けに出勤した時に担当して利用者様から「いなくて寂しかったわ」と言っただけ、「自分が必要とされている」ことを実感します。専門知識や資格がないと躊躇している人に是非、福祉の仕事の魅力を伝えたいです。



職員File
09

相談支援事業所 グリンハイム
菅原 啓佑 さん

学生時代に参加した地域ボランティアや障がい児施設での実習体験で福祉分野を目指そうと決意。知的障がい者施設で働いた後、異業種も含めて転職しましたが、結局福祉分野の現職に。やっぱりやりがいがあります。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科 2年 学生File
道 音葉 さん 01

2年生になり多くの現場実習を経験させていただいています。祖母が病気を患った時に親身に話を聞いてくださった介護福祉士さんのようになれるように頑張っています。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科 2年 学生File
淡路 浩太 さん 02

将来は利用者さん一人一人の想いや身体の状態に合わせて、ご要望を考え継続できるケアをしたいです。就職は障がい者支援施設を目指しています。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科 1年 学生File
八木 美遥 さん 03

もともと母が介護職をしていて小学校の頃に職場にいったことがきっかけで福祉に興味を持ち進学。中学校で職場体験をした老人ホームで働きたいと思っています。



せいとく介護こども福祉専門学校
介護福祉科 1年 学生File
高木 隼希 さん 04

介護に必要な知識や技術はもちろん、利用者さんとの関わりに必要なコミュニケーション能力の向上にも努力しています。バイトで様々な年齢の方々と対話してトレーニング中です。

